

令和 7 年 4 月 1 7 日
国土交通省関東地方整備局
利根川下流河川事務所

令和 7 年度 利根川下流河川事務所 事業概要

～利根川下流における流域治水の推進に向けた取組～

令和 7 年度の国土交通省利根川下流河川事務所における河川事業のポイントを紹介します。

令和 7 年度 事業のポイント

1. 治水対策の推進
2. 危機管理対策の推進
3. 美しい自然や良好な景観、自然共生空間の創出
4. 安全で安心できる暮らしを支える導水路の管理
5. 安全性を持続的に確保するための維持管理

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 茨城県政記者クラブ 千葉県政記者会

<問い合わせ先>

関東地方整備局 利根川下流河川事務所

電話：0 4 7 8 - 5 2 - 6 3 6 1（代表） FAX：0 4 7 8 - 5 2 - 9 7 2 0

副所長（工事） 藤井 （ふじい） （内線：2 0 4）

副所長（調査） 伊藤 （いとう） （内線：2 0 5）

工務課 工務課長 平田 （ひらた） （内線：3 1 1）

事業概要

令和 7 年度予算総括表

事業費（百万円）

予算項目	令和 7 年度 事業費 （当初）	令和 6 年度 事業費 （補正）	令和 6 年度 事業費 （当初）	前年度比 （当初）
河川改修費	2,451	3,008	2,392	1.02
河川維持修繕費	1,949	134	1,952	0.99
河川工作物関連 応急対策事業費	730	-	470	1.55
堰堤維持費	1,642	588	1,644	1.00
総合水系環境整 備事業費	26	-	27	0.81
合計	6,798	3,730	6,485	1.05

* 上記のほか、諸費等があります。

四捨五入の関係により、合計値が一致しない場合があります。

とねがわうがんちくてい
利根川右岸築堤

事業の概要

利根川水系利根川下流では、流域治水プロジェクトに基づき、令和元年台風19号により浸水被害が発生した忍町地区から桜井町地区において無堤部の堤防整備を実施し、浸水被害の解消を図ります。

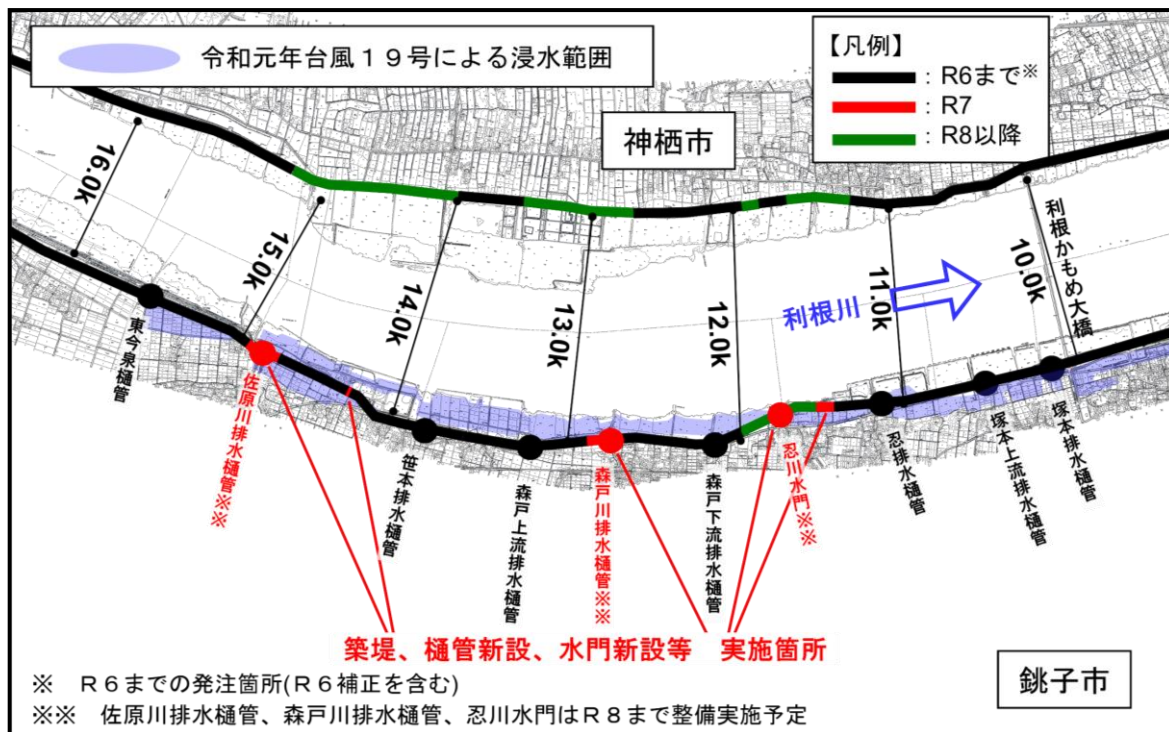
令和7年度予定

築堤、樋管新設、水門新設等の整備を実施します。

事業の効果

築堤等の整備を実施することで、浸水被害の解消を図ります。

位置図



整備イメージ



とねがわさがんちくてい

利根川左岸築堤

事業の概要

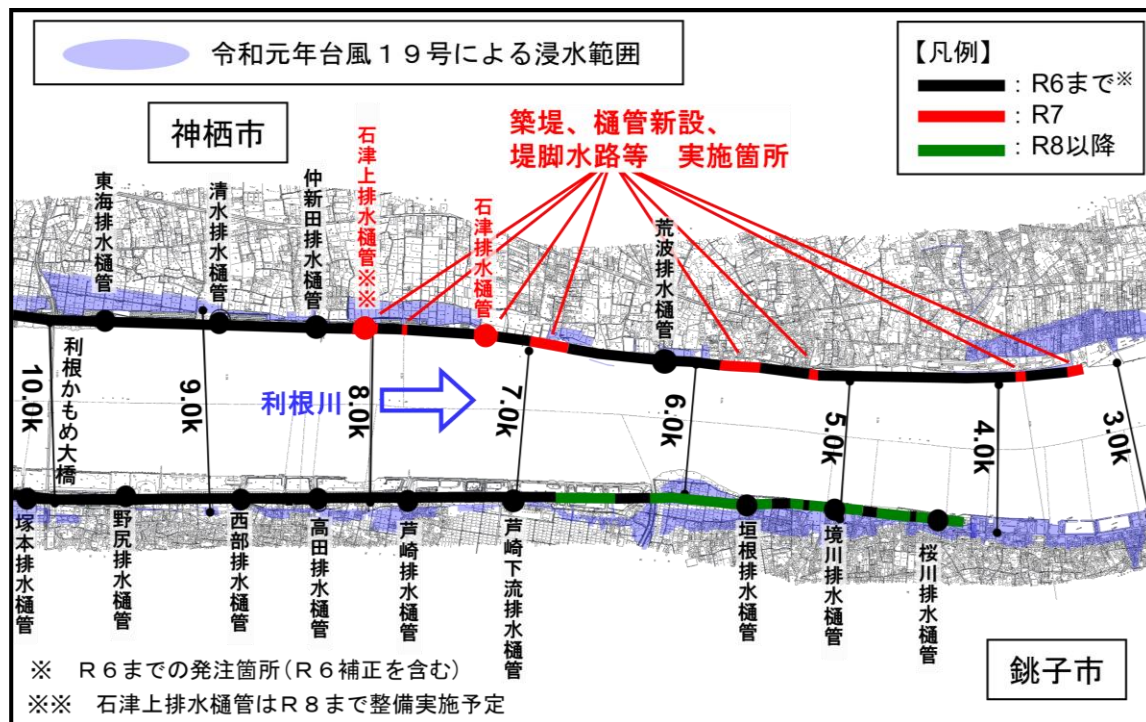
利根川水系利根川下流では、流域治水プロジェクトに基づき、令和元年台風19号により浸水被害が発生した波崎地区から矢田部地区において無堤部の堤防整備を実施し、浸水被害の解消を図ります。

令和7年度予定

築堤、樋管新設、堤脚水路等の整備を実施します。

事業の効果

築堤等の整備を実施することで、浸水被害の解消を図ります。



整備イメージ



樋管完成写真（仲新田排水樋管）



築堤完成写真（別所地区）

みずべ MIZBEステーション等^{など}の活用^{かつよう}

事業の概要

災害時に水防活動等の拠点となる河川防災ステーション等の整備・管理を実施します。

事業の効果

危機管理対応の拠点を整備することで、迅速かつ的確な水防活動、緊急復旧活動が可能となります。また、平常時は市民の交流の場として活用されています。

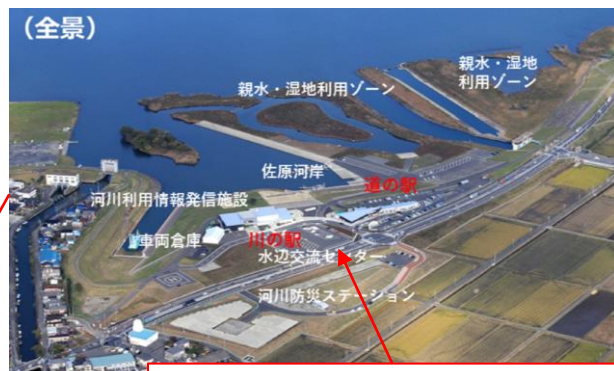
①出津地区河川防災ステーション（平成11年度完成）の活用

②佐原広域交流拠点【佐原地区MIZBEステーション】（平成21年度完成）

佐原地区MIZBE（河川防災）ステーションは、佐原広域交流拠点として、川の駅と道の駅が一体となり、安全で賑わいのある地域の拠点を形成しています。

この交流拠点は、令和6年度でPFI事業期事業が終了いたしました。河川空間のオープン化によって更なる利活用が図られるように令和7年度以降も引き続き香取市と連携して維持・管理、運営等を進めています。

③押付地区河川防災ステーション（事業中） 用地取得の継続



とねがわかりゅうしぜんさいせい 利根川下流自然再生（１）

事業の概要

利根川下流域は、干潟や湿地と河川では最大級のヨシ原を有し、国際的な絶滅危惧種のオオセッカの繁殖・越冬地や、ヒヌマイトトンボなど多様な生物の生息環境となっています。

しかし、高水敷の乾燥化、外来種の侵入など生息環境の消失が進んでおり、平成25年度に利根川下流部自然再生計画を策定し、これに基づき、干潟や湿地、ヨシ原の保全・再生に取り組んでいます。

令和7年度予定

令和5年度に整備した船木・椎柴地区等のモニタリング調査を継続して実施します。

事業の効果

多様な生物の生息・生育場を育む湿地・水際環境の保全・再生を行い、また、地域との連携を図りつつ取り組むことで、利根川下流の貴重な自然環境の次世代への継承が図られます。

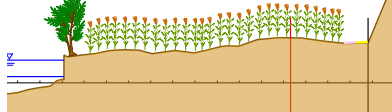
位置図



船木・椎柴地区自然再生地の状況

●利根川下流部の自然再生整備箇所

整備前

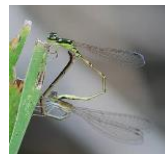


干潮時でも中央に水面が残るようなワンド等を造成

整備後



オオセッカ
(絶滅危惧ⅠＢ)



ヒヌマイトトンボ
(絶滅危惧ⅠＢ)



コジュリン
(絶滅危惧Ⅱ)

ヨシ原環境



オオセッカ等の生息に必要な湿潤なヨシ原を再生

干潟環境



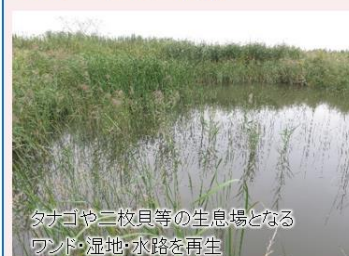
底生動物や魚類・鳥類の生息場となる干潟を再生

河岸環境



水際部の多様性を回復し、ヨシ原と干潟のつながりを確保

ワンド・湿地・水路



タナゴやニ枚貝等の生息場となるワンド・湿地・水路を再生

とねがわかりゅうしぜんさいせい 利根川下流自然再生（２）

トピック『地域と連携した次世代への継承の取り組み』

○利根川下流の自然再生の取り組みは、専門家や自治体、地域の学生などの意見、参加を得ながら取り組んでいます。

○広大なヨシ原にはオオセッカやコジュリンなどの貴重な生物の生息場となっており、健全なヨシ原を保全、改善することは地域振興の一助となることから「ヨシ焼き」を令和４年から継続して実施しています。

○地域の中学校を対象に行ってきた環境学習のノウハウを活かし、自治体や市民団体等の更なる協力を得ながら発展させていきます。

○取り組み成果を地域に発信し、地域の発展につなげるためのシンポジウムを自治体と連携して開催します。

○これらについて令和７年度も引き続き実施します。

令和６年度実施状況

第6回 利根川下流部 自然再生シンポジウム in 銚子

水郷・利根川の魅力と地域とのつながりを考える

基調講演
成すべき行動は 大人になるまで待たなくても良い
田中 達次 一般社団法人 環境文化研究所 代表理事

話題提供
利根川の災害の記憶を未来に伝える 藤本 一雄 千葉県立中央博物館
利根川の歴史と文化、西洋に開かせてみると 浅井 隆 埼玉県立歴史と民俗学博物館

発表
利根川の自然環境を活用した体験学習に参加して
東庄市立東庄中学校2年生 浦崎第二中学校1年生 銚子市立銚子西中学校1年生

パネルディスカッション
コーディネーター 坂 有希子 環境文化研究所
パネリスト 堀川 悠一 銚子市 田中 達次 千葉県立中央博物館
藤本 一雄 千葉県立中央博物館 浅井 隆 埼玉県立歴史と民俗学博物館
水村 佳美 銚子市立銚子西中学校 小淵 康正 利根川下流自然再生推進委員会

申し込み受付は、土木学会CPO認定プログラムです。
申し込み期間：2月5日（土）12:30～2月11日（金）15:00
受付開始 12:30～
締切 1/28
会場 千葉科学大学リーナキャンパス 4階多用途2階0201
参加費 無料 会場 100名 オンデマンド配信 200名 参加方法 申し込み
問合せ先 利根川下流自然再生推進委員会 事務局 TEL 0478-62-8888 会場 三浦・船橋



専門家による自然再生地 現地調査



環境学習（野鳥観察）



自然再生シンポジウム
（銚子西中学校）



環境学習（底生生物調査）



令和7年3月8日（土）ヨシ焼き
（右岸20.0k河川敷、東庄町）



東庄中学校の生徒による火入れ

きた ち ば どうすい し せつ かん り

北千葉導水施設管理（１）

施設の概要

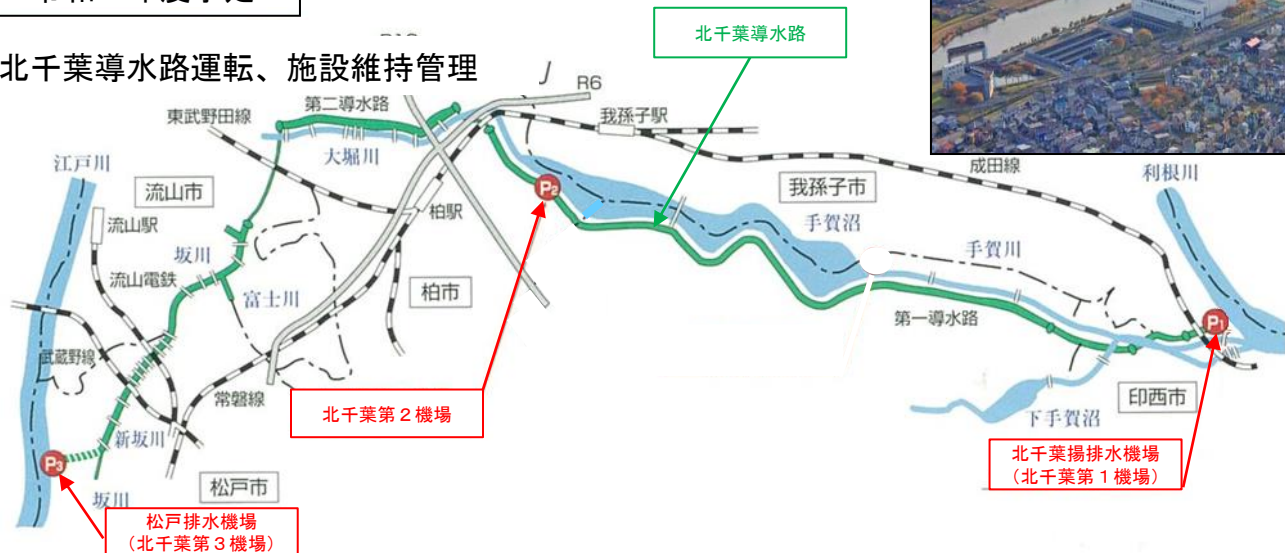
北千葉揚排水機場（北千葉第１機場）は、利根川から都市用水及び浄化用水合わせて最大40m³/sを揚水し北千葉第２機場へ導水します。また、洪水時は利根川へ最大80m³/sの内水排除を行います。

北千葉第２機場は、手賀沼等へ最大10m³/sの浄化用水を注水するとともに、江戸川へ最大30m³/sの導水を行います。



令和7年度予定

北千葉導水路運転、施設維持管理

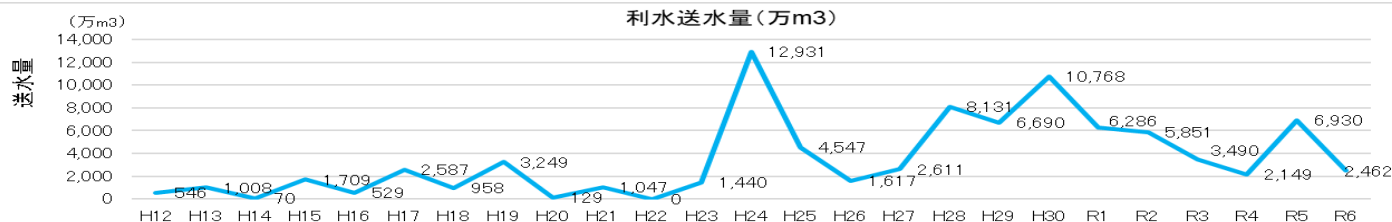


施設の目的

洪水時に手賀川及び坂川流域の内水を排除して、浸水被害から街を守ります。
江戸川に水が不足した時に利根川から導水して、江戸川における都市用水を確保します。
利根川からきれいな水を手賀沼等へ導水して水質を浄化します。

利根川から江戸川への都市用水の供給

近年、江戸川への都市用水の供給量が増えており北千葉導水路の重要度が高まっています。



きた ち ば どうすい ろ し せつ かん り

北千葉導水路施設管理（２）

渇水対策（施設管理・水の安定供給）

北千葉導水路は、東京都、埼玉県、千葉県都市用水を供給するため江戸川へ利根川の余剰水を送水しています。都市用水の供給が滞らないよう施設の点検・補修を実施します。



主ポンプ設備定期点検状況



主ポンプ内部点検状況



主ポンプ分解補修状況

北千葉導水路長寿命化対策

北千葉導水路は、平成12年の運用開始から20年以上経過しており、施設の長寿命化を図るため、学識経験者等からも意見を伺い効率的な施設の点検・補修を実施します。



導水管内点検状況



導水管内補修状況



導水管内補修状況

か せん い じ しゅうぜん
河川維持修繕

事業の概要

管内の堤防・護岸・排水機場・水門・樋管等の河川管理施設の機能を維持し、河川の持つ治水・利水・環境の機能を保つため、施設の維持修繕及び堤防除草・河川巡視等を実施します。

令和7年度予定

河川維持修繕として以下を実施します。

1) 堤防除草

堤体の変状等を早期発見できるよう除草を実施します。



2) 護岸・堤防の修繕

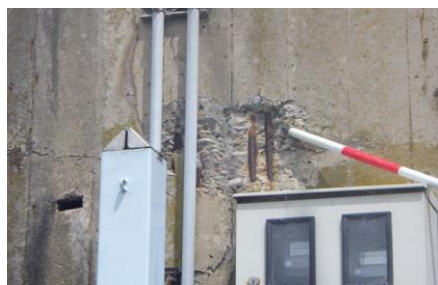
護岸や堤防の機能を維持するために、破損が発見された場合には、修繕を実施します。



修繕箇所イメージ

3) 排水機場・水門・樋管等の点検

構造物のコンクリートの劣化等、定期的な点検を実施し、異常が発見された場合には、修繕を実施します。



4) 河川区域・占用等の管理

河川区域内の日常的な管理や、占用者との調整等を実施します。



5) 水質事故・不法投棄対策

河川内への油等の流出、また河川区域内での不法投棄が発見された場合には、環境・景観等への影響を考慮し、除去作業を速やかに実施します。



6) 河川巡視・堤防点検等

河川管理施設の変状や、水質事故・不法投棄の早期発見などを目的として、河川巡視を日常的に実施し、また職員が徒歩により堤防点検等を実施します。



河川維持修繕（機械設備関連）

令和7年度予定

1) 水門設備点検

水門設備における機能を維持するために定期的な点検・整備を実施します。



2) 水門設備老朽化施設の更新

老朽化し補修で賄えない設備については、トータルコストを勘案し、必要に応じて設備の更新を実施します。



3) 排水機場設備点検

排水機場における機能を維持するために定期的な点検・整備を実施します。



4) 排水機場設備定期整備・更新

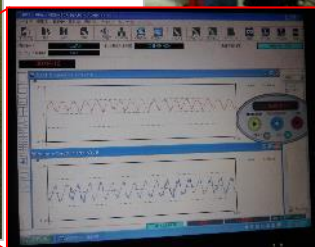
設備の健全度を評価した結果を踏まえ、不具合発生前に定期的な分解整備や更新を実施します。



5) 設備の傾向管理

定期的な点検に加え、設備の詳細点検を実施し、傾向管理を行い設備の健全度を把握します。

振動計測状況



分解整備イメージ

か せん こう さく ぶつ かん れん おうきゅう たい さく
河川工作物関連応急対策

事業の概要

設置以来相当の年数が経過し、各部の老朽化による信頼性の低下や耐性に問題がある機器の更新を行い、安全・安心して排水運転が出来るようにします。

令和7年度予定

主ポンプ設備の分解整備及び羽根車のステンレス化を行うとともに遠隔操作システムを整備します。

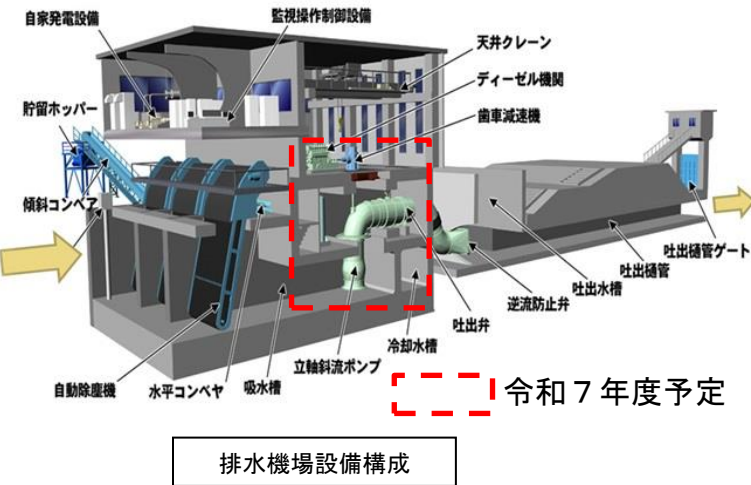
事業の効果

主ポンプ設備の分解整備を行うことで信頼性を回復させるとともに、鋳鉄と比較して腐食に強いステンレス製の羽根車に更新することで主ポンプの長寿命化及びライフサイクルコストの低減を図ります。また、緊急時の対応が遠隔操作で対応可能となるよう整備します。

位置図



対象設備	整備内容
利根川下流河川事務所・各出張所 牛久沼排水機場、黒部川排水機場	遠隔監視操作制御設備関係更新
十日川排水機場	1号・2号立軸ポンプ、歯車減速機分解整備
尾羽根川排水機場	1号主原動機（ディーゼル機関）他更新



取組の概要

利根川下流域において氾濫が発生することを前提に社会全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」を再構築する取組の一環として水防災教育等を推進していきます。

令和7年度予定

令和7年度も引き続き、茨城・千葉県の利根川下流管内の小中学校で水防災教育を予定しています。学生サポーター制度を活用しつつ、地域にあった資料提供を合わせて行い、より身近な水防災教育を進めていきます。

令和6年度実施状況

今後もより広く展開・充実した持続可能な水防災教育を自治体と連携し実施して行きます。



学生サポート一制度

令和6年度 小学校での授業の様子

令和５年９月２２日に、関東地方整備局管内では初となる「水防災教育推進に向けた連携協力協定（大学生による防災教育支援・通称／学生サポーター制度）が千葉県銚子市の「千葉科学大学と利根川下流河川事務所」で協定が締結されました。